



音の輪・音の和



兵庫県音楽療法士会

2011年2月発行

No. 1

「音の輪・音の和」 発刊によせて



兵庫県音楽療法士会
会長 北山 紀子

2002年5月に兵庫県音楽療法士会が発会して満9年、この度、待望の広報誌「音の輪・音の和」が発刊の運びとなりました。以前より何度か広報誌の発刊を望む声もありましたが、会員数も少なく時期尚早と見送ってまいりました。

現在会員193名が、県下の400を超える施設で音楽療法を展開するまでになりました。

タイトルの「音の輪・音の和」とは、人と人を音楽で繋ぎそこに生まれる穏やかな時間の共有を表す意味を含んでおります。

震災という大きな試練を乗り越えた兵庫の地に、音楽で人々のこころと身体を癒し「元気」と「勇気」と「笑顔」を引き出す援助が出来ますよう、努力を惜しまず学び合う兵庫県音楽療法士会の活動をお知らせいたします。

会の催しや研修会の様子、また会員による実践現場からの様々な情報を共有しあえる紙面になることと思います。

広報誌発刊により、医療・福祉の現場の皆様や広く県民の皆様にも音楽療法を更に広く知っていただくことが出来ましたらこの上もない喜びです。

本年5月には当会は10周年を迎えます。

「音の輪・音の和」が10年の歴史を刻む1ページとなることを信じつつ。



「音の輪・音の和」 創刊に寄せて



兵庫県知事
井戸 敏三

兵庫県音楽療法士会の広報誌「音の輪・音の和」が創刊されました。心からお祝いします。

阪神・淡路大震災では、さまざまな音楽活動が人と人、心と心をつなぎ、明日への希望と元気を与えてくれました。この経験を踏まえ、兵庫県は平成13年度に音楽療法士の認定を開始しました。認定第一号の27名の皆さんにより発足した県音楽療法士会は、今では会員約200名へと発展し、県下各地の病院、福祉施設等で音楽療法の実践、普及啓発に取り組んでいただいています。音楽療法の取り組みは着実に広がりを見せています。

本格的な人口減少社会を迎えるなか、だれもがいきいきと暮らせる社会の実現をめざさなければなりません。今こそ、心身の働きを維持・改善し、その人らしく生きることを応援する音楽療法が大きな力を発揮するときです。それだけに、音楽療法のすばらしさをもっと多くの方々に知っていただく必要があります。

このため、昨年9月には、本県と日本音楽療法学会との共催により県民フォーラムを開催しました。全国から多数参加いただき、先進地ヨーロッパに学ぶシンポジウムや音楽劇などを通して、音楽療法の意義や役割を広く伝えることができました。

そして今回、広報誌「音の輪・音の和」の発行がスタートします。音楽療法士会の活動内容や音楽に関する豆知識、県の認定制度・導入促進事業など、様々な情報が継続的に発信されます。

この広報誌を通して、多くの皆様の理解が深まり、音楽療法に親しむ人々の輪が大きく広がっていくことを願っています。

「音の輪 音の和」発刊によせて	1・2
北山紀子／井戸敏三／山口陽雄／堀 早苗	
兵庫県音楽療法士会 HMTA	3

目次

兵庫県の音楽療法補助制度	4
日本音楽療法学会学術大会in神戸を終えて	5
音楽の豆知識&楽器紹介／編集後記	6

創刊によせて

兵庫県音楽療法士会

顧問 山口陽雄

(医療法人社団向陽会向陽病院 理事長)
社会福祉法人向陽福祉会 理事長



兵庫県音楽療法士会広報誌の創刊にあたり、一言申し上げます。

音楽は心身を鎮静させ、或いは鼓舞させる力があります。そして、治療として、または健全と思われる人々にとっても、日常生活において必要なものであると思います。

そこで、音楽療法の本質や効用が色々な所で普及していくことが望ましいと考えます。その普及活動の一環として、音楽療法士の活動とその広がりを知って頂きたく、この度、広報誌が発行される運びとなりました。

本書を多くの皆様にお読み頂くことを願い、且つ、今後とも情報誌として末永く発行されることを祈っております。



◀ 発会式



5周年式典▶

創刊によせて

兵庫県音楽療法士会

顧問 堀早苗



平成23年、「兵庫県音楽療法士会」は10周年を迎えます。

平成13年5月、兵庫県知事井戸敏三さま始め、ご担当の皆さまのご協力を頂き「兵庫県音楽療法士会」は、歩み始める事が出来ました。

助成事業や養成講座の継続など、兵庫県のご支援は大きな支えとなっております。

発会当初より、ご助言、ご協力を頂きました山口陽雄先生には、兵庫県音楽療法士会立ち上げに際し、顧問をお引き受け頂く事が出来、大きなお力を得て、歩み続けることができました。今も変わらぬ山口先生のご支援に、心より感謝致しております。

人と人との「出会い」から始まる「音楽療法」。お出合いを頂けた、おひとりおひとりの大切な「時」を音楽の中に共有させて頂くことの重さを真摯に受け止め、その「時」が少しでもQOLの高い“ひととき”であるようにと願い、日々活動を続けております。

この10年、兵庫県音楽療法士237名は、大きな大きな輪「和」となっておりまいた。

共に学び、共に歩み、共に悩み…そして共に喜び…。

「広報誌」創刊にあたり、音楽療法士それぞれの願い、想いも言葉となり、文字となって届けられます。

「兵庫県音楽療法士会」の新しい歴史の始まりです。

常に「他者の自己表現を援助する」音楽療法の原点を忘れず、うけとめる方々、お出会いする方々のお心に、豊かさを、安らぎをお届けできるように、と願いつつ活動を続けていきたいと思っております。

『音の輪・音の和』の創刊に寄せて…。

お知らせ

10周年記念式典及び特別講演会

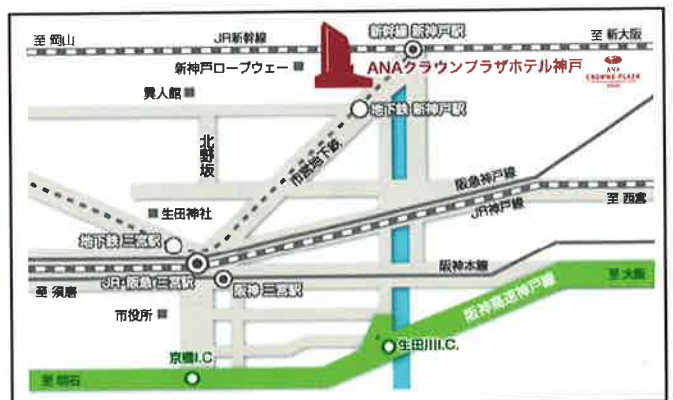
日時

平成23年5月15日
13:30~16:00

会場

ANAクラウンプラザホテル神戸

※一般の皆さまからのご参加も募らせていただく予定です。



兵庫県音楽療法士会 HMTA

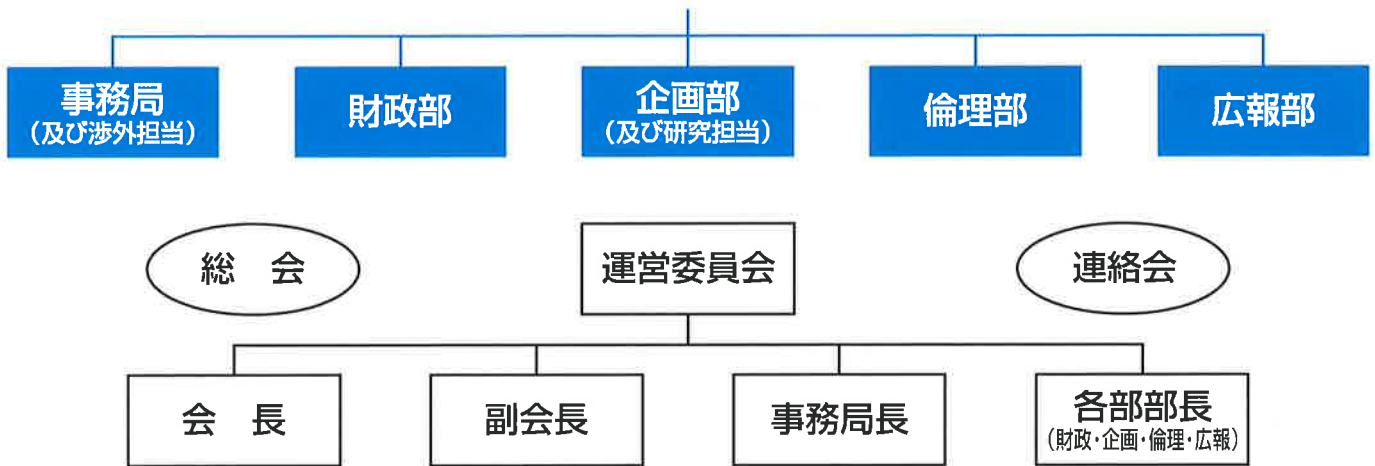
音楽療法の普及と向上の発展に努めることを目的に、2002年5月に発足。

HMTAとは、
Hyogo Music Therapy Associationの略。

会員資格は兵庫県音楽療法士の認定を受けた者で、入会は任意。

2010年12月現在の会員数は193名で、毎月1回の研修会及び事例研究会や普及活動を行っている。

《兵庫県音楽療法士会組織図》



兵庫県音楽療法士 認定・更新の流れ

ひょうごヒューマンケアカレッジ「音楽療法講座」において、歌唱及び2種類以上の楽器が演奏できるという条件で、右図のような流れで約270時間の講座や6ヶ月に亘る実践、また2度の選考試験を経て「兵庫県音楽療法士」の認定を受けます。

基礎講座 音楽療法の基礎知識を学ぶ
(例：音楽療法の理論・音楽によるコミュニケーション)

専門講座 音楽療法の専門知識・技術を学ぶ
・実践分野
(例：乳幼児～高齢者の音楽療法・施設見学)
・関連領域分野
(例：医学と健康・障害と福祉・心理学)
・実技分野
(例：療法的音楽研究・音楽療法演習と実習)

実践経験 県が指定する実践現場で6ヶ月間指導者のもと実践経験を積む。

更新 認定後は実践活動や研究発表を行い、5年以内に更新を受ける。



兵庫県の音楽療法補助制度

Q 音楽療法の補助制度って何ですか？



兵庫県音楽療法士会が県の補助を受けて、医療・福祉施設等に対し、音楽療法の実施経費の一部を補助する制度のことです。

Q 補助の対象になる施設はどんな所ですか？



施設利用者を対象として、音楽療法士による音楽療法を概ね週1回(月2回以上)継続して実施する兵庫県内の医療・福祉施設です。

Q 施設への補助内容は、どんなものですか？



音楽療法士の謝金の1/2(上限1回2,500円)と一部地域の施設への交通費の補助があります。

Q 補助制度を利用した施設の評価はどうでしたか？



非常に良い …79%
 まあまあよい …12%
 普通 …6%
 悪い・非常に悪い…3%

Q 過去、4年間(H18~21年)にどれくらいの施設が利用したのですか？

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
高齢者施設	89	37	31	30	15	19	8	8	9	4	250
障害者施設	30	8	12	1	0	7	8	5	2	3	76
医療施設	2	1	2	0	0	1	0	0	0	3	9
合計	121	46	45	31	15	27	16	13	11	10	335

(兵庫県音楽療法の歩み冊子より)

コーディネーターに4年間(H18~21年)を振り返っていただきました

事業を始めるにあたり会で募集したコーディネーターに応募し1年目からマッチングと事務をさせていただいている韮本です。

最初の一年間は書類の意味がわからず大変でしたが、当時の兵庫県の担当者さんに粘り強く教えていただいて何とか1年目を終え、現在5年目を進めています。日本の音楽療法はまだまだ発展途上ですが、行政のバックアップのある恵まれた環境で、未来の音楽療法の姿を夢見て日々頑張っています。その未来への道は現在関わっている私達の肩にかかっていると実感しています。



兵庫県の地区割り地図です！



第10回

日本音楽療法学会学術大会 in神戸を終えて

大会テーマ

いのちに寄り添い、こころをつなぐ
～音楽療法の原点と課題～

第10回日本音楽療法学会学術大会が、2010年9月24日から26日まで神戸国際会議場及び神戸ポートピアホテルにて開催されました。講習会や学会員の140に上る研究発表に加え、欧州4カ国からの招聘講師による国際シンポジウムや兵庫県知事をはじめとする著名人を交えた特別座談会が催されました。

兵庫県音楽療法士会の今大会での取り組みをご報告させていただきます。



交流会 87名の大合唱

25日夜、ポートピアホテル「大輪田」にて交流会が行われました。全国の皆様を大合唱でお迎えしようと兵庫県音楽療法士会の有志87名が参加しました。当会顧問の山口陽雄(岡 陽雄)先生が作曲、三川屋優先生が作詞された「あなたに花を」、日野原重明先生が作詞・作曲された「母と子の永遠の絆」を心を込めて歌わせて頂きました。

山口先生は優しい笑顔で見守って下さり、また日野原先生から「私が作った歌をこのようなコーラスで歌っていただき嬉しく思います。」とお言葉を頂き、私たちも大変嬉しく思い感動しました。今回兵庫県で日本音楽療法学会学術大会が開催され兵庫県音楽療法士会として参加出来た事は光栄なことであったと思います。

最後は、益子務大会長指揮により阪神・淡路大震災をきっかけに作られた歌「しあわせ運べるように」を全員で歌い、交流を深めました。会場が一体感に包まれ改めて音楽の持つ不思議な力を感じさせられました。

自主シンポジウム

災害時における音楽の果たす役割

阪神・淡路大震災を一つのきっかけに、兵庫県音楽療法士養成講座が始まり、兵庫県音楽療法士が誕生した経緯から、上記のタイトルで、自主シンポジウムを行いました。準備委員会はシンポジウムを行うにあたり、調査法やPTSD等について勉強する事から始めました。会員は震災だけでなく様々な災害、事件、事故で被災された方々約180人へのアンケートを実施しました。

当日は話題提供者として6人の方が次の様なお話をして下さいました。***後藤浩子氏**：事件に巻き込まれた遺族が体験した二次的被害について ***佃綾乃氏**：震災時倒れた家の下敷きになった体験から立ち直り医学を学びながら自分にしかできない音楽を目指していることについて ***山口陽雄顧問**：50年前から精神病院での音楽療法に携わってきた中で強く感じている事について(代読) ***兵庫県健康福祉部 廣野誠氏**：県の取り組みについて ***堀早苗顧問**：震災後実際に避難所を回って音楽療法を実践した体験談 ***北山紀子会長**：アンケート集計結果、会の取り組みについて(以上、登壇順)

指定討論者として、岡寄順子氏、生野里花氏が登壇して下さいました。「音楽は、心をそのまま揺さぶる。抱き留めてくれる。」「音楽は湧き出る物。持ってきて置く物ではない。これが音楽療法」等をお話頂き、「自分のセッションはどうか」と個々に振り返る場面もあったと思います。又、河合隼雄氏の「悲しみを中心に据えて日常生活を大切にしよう」の言葉が紹介され、トラウマは決して消せるものではないもの。個、場、時間をとおしてフォローが必要で、音楽は直接的にも、間接的にも関わる可能性があるとお話されました。

会場内からすすり泣きが聞こえた時、司会者は努めて優しい口調で和やかに進行していました。企画者は、「音楽療法とは？」と改めて考える事が出来た事、会員がまとまって取り組めた事など得る事が多かったと感想を述べています。会場にいた人たちは、それぞれがいろいろな想いを抱えたのではないのでしょうか。自分の中で昇華し、それを糧に音楽療法士として成長していくきっかけとなるシンポジウムの取り組みでした。

音楽の豆知識 & 楽器紹介♪



【春の小川】はどこの小川？

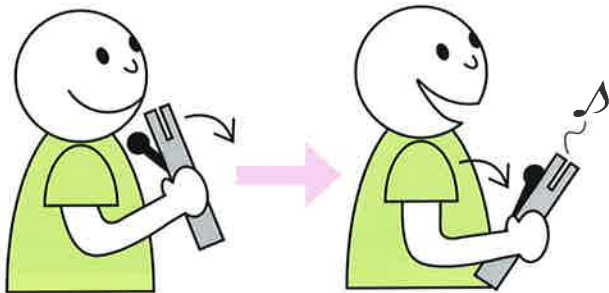
文部省唱歌を多く作詞している高野辰之の代表曲の一つです。

この曲について彼は「明治神宮の下の、今、小田急電車の通っているそばの小川を歩きながら作った歌だよ」と話していたそうです。この曲は大正元年に作られたもので、昔、その辺りは東京都渋谷区を流れていた渋谷川の支流「河骨(こうぼね)川」ということになります。昔はのどかな風景だったことでしょう。

楽器紹介 トーンチャイム



トーンチャイムはハンドベルを手軽にしたもので、いつでもどこでも簡単に演奏できるようにと、近年日本で開発されたまだ歴史の浅い楽器です。ハンマーのようなものの先にゴムがついていて、手で持って振るとハンマーがパイプを叩いて共鳴させて音が鳴ります。やさしい音色で音楽療法の場面でよく使われています。



歌詞内容が変身した外国曲

わが国には外国曲に原曲とは無関係な歌詞をつけて歌われていた曲が数多くあります。

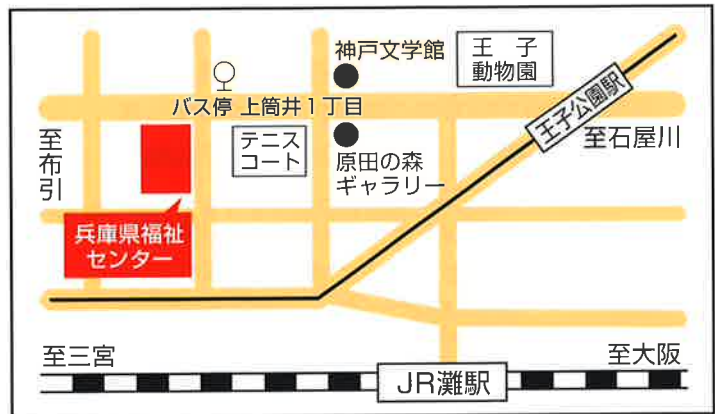
たとえば「夕空晴れて秋風吹き～」でよく歌われている「故郷の空」の原曲は、「ライ麦畑を通りぬけ」というスコットランド民謡です。以前、ドリフターズが「誰かさんと誰かさんが麦畑～」と歌って世間のヒンシュクを買う事もありましたが、こちらの方が原曲に近い内容だと言われています。

またアメリカの「リパブリック讃歌」については、原曲は神や国家に栄光あれ!という内容ですが、「おはぎがお嫁に行くときは～」 「権兵衛さんの赤ちゃんが風邪ひいた～」など色々な歌詞がつけられています。他にも色々変身した外国曲があるのでまた探してみるのも楽しいと思います。

「音楽授業を20倍楽しくするお話のネタ」
八木正一編著 参考

《新事務所に移転しました》

〒651-0062
神戸市中央区坂口通2丁目1-1
兵庫県福祉センター6F
TEL・FAX (078) 261-9601
E-mail: hmta_02@ybb.ne.jp
URL: http://hmta.cool.ne.jp
メールアドレス・ホームページURLに変更はありません。



広報誌『音の輪・音の和』の“輪”はベクトルのように方向性のある関係ではなく、参加者みなさんの顔が見えるセッションをイメージしています。“和”は和み(なごみ)を思っただけであれば幸いです。このような思いを込

め会員がこのタイトルを考案しました。私達はいつもこのタイトルを心に刻んでいたいと思います。

最後に、創刊に際し御尽力・御協力を賜りました皆様にお礼申し上げます。